

奏かつしか 事業計画

2019年度

社会福祉法人 原町成年寮

奏かつしか 平成 31 年度事業計画

1・はじめに

「奏かつしか」として、第一号のグループホーム「葛の葉」は、東京都独自施策の通勤寮連携型グループホームである。

平成 29 年 1 月 1 日付けで、4 名定員の女子寮として立ち上げた。

通勤寮と同等の支援を要するという事で、通勤寮と併せて 3 年の利用可能（通過型グループホーム）。家賃がかからない、居室の備え付け家具・電化製品完備、葛飾通勤寮と連携をしながら支援体制を整え、利用者が安心して、負担なくグループホーム生活を段階的に経験できるというメリットがある。

平成 30 年 10 月 1 日付けで、共同生活援助事業「ことの葉」を立ち上げた。

葛飾通勤寮、葛の葉からの卒寮者を受け入れる場所とする。

2・利用者について

「葛の葉」

新規で通勤寮 2 年目の 1 名を受け入れた。また、地域からの受け入れも 3 名受け入れ、4 名の定員の構成している。3 名一般就労、1 名就労移行事業所利用。

「ことの葉」

葛の葉から 2 名、通勤寮から 1 名を受け入れ、3 名の定員で構成している。

2 名は一般就労、1 名は就労継続 B 型に通所。

生活面、精神面での課題に取り組み、就労生活も落ち着き、より良い生活を目指す。

3・通勤寮と同等の支援を実施。

「葛の葉」については、通勤寮と同等の支援を要する、通勤寮連携型グループホームなので、必要な通勤寮の行事やプログラムに参加する。

1) 参加行事

・キャンプ・福祉マラソン・障害者スポーツ大会・かつくら祭・納会・正月旅行・成人式・自治会行事

2) プログラム

・女子茶話会（必要な利用者） ・教養（必要な利用者）

*金銭支給や身辺、大掃除などは、通勤寮と同日に実施とする。

「ことの葉」について

1) 参加行事

・福祉マラソン・障害者スポーツ大会・正月旅行・かつくら祭（ボランティア）

4・健康管理について

通勤寮の年2回の健康診断やインフルエンザ予防接種、歯科検診には参加とする。
定期通院が必要な利用者に関しては、関係医療機関との連携を図り、病状把握と治療に努める。

5・食事について

調理員を配置し、朝と夕の食事を月～土曜日の朝まで作ってもらう。
また、調理員が休みの時などは、通勤寮給食で連携を図り、バランスの良い食事を提供する。
また、利用者自身がバランスの良い食事を考え、購入出来るよう支援する。

6・就労支援について

利用者の職場、各関係機関と連携を図り、利用者が安定した就労に取り組める支援をする。
定期的な職場訪問も実施していく。失業時には、各関係機関との連携と、速やかな再就職を目指せるよう職場開拓・定着支援を実施する。

7・個別支援計画について

6ヶ月に一回、個別支援計画の作成にあたる。それに基づいて、利用者の安定した生活、より豊かな生活を一緒に考える。

8・移行準備支援について

「葛の葉」については、期限が近づいてきたら、本人の希望のもと、関係機関との連携を図り速やかに移行出来るよう支援する。管理者は、法人内グループホームとの調整会議に出席する。

7・会議・研修について

- ・月三回の通勤寮指導会に出席。報告検討をする。
- ・利用者支援に生かせるよう、外部研修への参加を計画的に実施する。
担当職員は、通勤寮内の支援者会議にも出席する。
- ・防災委員会は、通勤寮・クラフトと連携を図り実施する。
葛の葉、ことの葉独自の避難訓練も年2回以上実施する。
また、東堀切地区の防災訓練にも参加する。
- ・利用者の権利擁護、虐待防止の徹底。必要に応じて内部研修を実施。

また、外部研修にも参加する。

8・その他

- ① 福祉サービス第三者評価を実施した。
- ② 通勤寮卒寮する男性利用者が多いため、男性寮を開設するかを検討する。